

Queluz

について



ケルース

ケルース (Queluz) の町は、シントラ (Sintra) 行政区内の人口の多い地域にあり、リスボン (Lisboa) から12キロメートルのところに位置しています。18世紀初頭、周囲に広がる牧歌的な風景には王家のキンタ (荘園) と狩猟の番小屋があるばかりでしたが、国王ジョアン5世 (D. João V) の王子ペドロ (Infante D. Pedro) の命で、それが夏の離宮に改築されることになりました。

宮殿の建設は1747年から1760年にわたって行われ、建築家マテウス・ヴィセンテ・デ・オリヴェイラ (Mateus Vicente de Oliveira) とフランス人建築家ロビリオン (Robillion) が監修にあたりました。ロビリオンは、当初の設計図に新たに西翼を付け加えました。今日、これはロビリオン棟 (Pavilhão Robillion) と呼ばれています。さらに彼の手によって数々の美しい空間装飾が施されました。例えば、玉座の間 (Sala do Trono) や音楽室 (Sala da Música)、大使の間 (Sala dos Embaixadores) などがその例です。

宮殿は主にロカイコ様式、ロココ様式で装飾され、その内部には装飾美術の重要なコレクションが収められていますポルトガル家具、絵画、絨毯、陶磁器、アズレージョなど。また、宮殿を囲んで広がる幾何学的なデザインの庭園も大変美しく、中には池や彫刻がひっそりと隠れています。公園には、アズレージョで彩られた水路がめぐらされています。かつてそこには水がひかれ、王の一家が船遊びを楽しみました。現在宮殿に付属する別棟は、ポザーダ (Pousada) となっています。

宮殿の広間は、一般に公開されクラシック音楽のコンサートが開かれています。また毎週水曜日には、野外の馬場でポルトガル乗馬学校 (Alta Escola Equestre Portuguesa) によるパフォーマンスが行われています。